

# 兵工クラブ会報

兵庫工業倶楽部会報 第110号

発行日 令和4年7月1日  
発行所 兵庫工業倶楽部 〒652-0863  
神戸市兵庫区和田宮通2-1-63  
兵庫県立兵庫工業高等学校内  
(やまなみ会館)  
TEL・FAX 078-681-9797

eメールアドレス hths\_club@yahoo.co.jp

## 創立120周年に想う

理事長 富金原 伸 伍  
(創立120周年記念事業実行委員長)



同窓諸兄姉の皆様にかかれましては益々御健勝の御事心よりお慶び申し上げます。

平素より兵庫工業倶楽部へ物心共に多大なる御支援を戴いております事この場を借りて厚く御礼申し上げます。

扱、昨年コロナ禍の真只中、4月に御着任された矢部幸文校長先生にありましてはコロナ対策等、前代未聞の困難な時期を極めている折柄ではありますが、学校運営を支障無く遂行されている事に心より安意しております。矢部校長先生以下、教職員の皆様様の御尽力に感謝と敬意を表します。

又、大変残念な事に去る2月26日、昭和34年に創設された電子科(平成15年に電子工学科に改称)が、その63年の歴史に幕を閉じ、閉科となりました。この紙面を借りて御報告させていただきます。挨拶が上記の如く少し寂しい話題になってしまいましたが御許し下さい。又その反面明るい話題もあります。

本校は明治35年11月8日(1902年)に兵庫県立工業学校として設置されて爾来120年の歴史を歩んでまいりました。8学科を擁し卒業生は36,000余名を数え、開校以来120年間、間断なく日本の産業界の発展に寄与し続けて参りました。

1868年開国当時、日本の輸出用産品と云えば絹、茶、工芸品位でしかなかったと云われております。ところが開国から40年余の短期間の中にマッチから軍艦に至る迄、軽工業から重工業までを網羅し、それ等の多くを国産化する事に成功したのであります。この事を「極東の奇跡」と言っても過言ではないでしょう。そして国富を蓄えて欧米列強と比肩しようよう挙国一致してその目的の為に萬進していきましました。そしてその間、日清戦争を始め、日露戦争、第1次世界大戦、第2次世界大戦と幾多の国運を懸けた戦争を経験し艱難辛苦を乗り越えて来ました。

吾が県工はその間日本の工業の礎を支え、国の生存と繁栄を信じて今日迄貢献して参りました。学校の名称変更、学科の新設存廃等々数々の変遷を繰り返しながら発展して参りました。自然界を見渡してみても、その理は全くの処そうである様に、旧態依然として脱皮を厭う様では真の進化発展は望めない事でしょう。我執に拘泥せず、無遮の気風を不動のものとして定めておけば、県工の未来は何ら憂う事無く、今後150周年200周年を壮健にして迎え、祝着する事夢想だにせず、県工の隆盛を固く信じて疑わない心を持ち続けていく事をここに宣言し、来る11月8日に開催される記念式典の成功を心より祈念して御挨拶とさせていただきます。

## 創立120周年を迎えて

校長 矢部 幸文



兵庫工業倶楽部のみなさまにはますますご健勝のこととお喜び申し上げます。平素は本校の教育活動にご理解とご支援を賜り厚くお礼申し上げます。

昨年に引き続き校長の矢部 幸文(ヤバオサフミ)でございます。よろしくお願いたします。

本年度、創立120周年を迎えました。卒業生の皆様、在校生の皆様、生徒の育成に関わってくださった先生方、関係機関の全ての皆様、本当におめでとうございます。この記念すべき年に校長として勤務できることを感謝するとともに誇りに思います。

本校は明治35年、さらに産業や暮らしが近代化へと進む中、日本の産業を支える技術者の育成を目指し、神戸大開通に建築科と機械科が設置されたと聞いています。多くの生徒が明日の日本の発展を信じて、夢見て、額に汗し、手を汚して懸命に学んでいる姿が目に見えます。

その後も時代の変化や技術革新に対応するため、電気や化学、土木、電子、デザイン、情報技術を専門とする学科が設置されました。昨年度末で学びが終了しました電子工学科も、テレビや電化製品を広く一般の国民に普及させるために設置されたと想像しています。電子科、電子工学科の果たした役割はとても大きく、私の思いですが、せめて創立120周年まで迎えられたら、と残念に思っています。

さて令和4年度、兵庫県の高学校は「デジタル元年」です。BYODに代表されるように、タブレット端末をはじめICT機器を活用した授業が行われています。さらに工業高校では、昨年度末に整備されたデジタル社会に対応した産業教育設備を活用した、より高度な授業が行われています。多くの企業においてデジタル技術を組み込んだ設備・機器等を利用する知識、また、デジタル技術をものづくり現場等へ導入・活用していく力の育成が期待されています。文部科学省の調査によると、企業が主力製品の製造にあたり鍵となる技術・技能として、デジタル技術に関する知識や能力をあげています。デジタル技術に関する知識や能力について、5年後の見通しで現在の認識の約3倍になると報告しています。

本校においてこの先10年、各学科の基礎となる学びと建学の精神「誠実勤勉であれ 根性の持ち主であれ つねに明朗闊達であれ」を繋いでいきます。その上で、デジタル技術を身につけることはもちろん、「望む未来を自分たちで示し、作り上げていく能力」を探究させていきます。

今後さらなる本校の発展を決意する節目として、創立120周年の記念式典を迎えたいと思います。兵庫工業倶楽部のみなさまのご意見を賜りながら進めていきますのでよろしくお願いいたします。

未来の社会を担う生徒の学びをみなさまの豊かな経験と発想、情熱でより高度なものになるようご支援をお願いいたしましてご挨拶いたします。

## ご挨拶 「昭和、平成、令和」



教頭 中野 公雄

兵庫工業高校土木科高36回生として昭和の時代に高校生活を送り、教諭として平成8年から12年の5年+平成16年から25年の10年の計15年間勤務し、転勤して9年後の令和の時代に教頭として、また母校で勤務させていただくこととなりました。いろいろと変化したところもありますが、この学び舎の雰囲気は変わりなく、勝手知った場所に帰ってくることができて感無量です。

兵庫工業高校も、コロナや今まで誰も経験した事のない、先の見通せない新しい環境や価値観の中で、変革が求められています。将来の日本を作る生徒を育てるために、兵庫工業高校はどのような道へ進むべきか。創立120周年を迎えるにあたり、大きな課題を背負っていると実感しております。

教職員、保護者、地域住民、そして兵工クラブの諸先輩のお力を借りながら、教頭職を全うしていきたく思います。今後ともご支援、ご協力のほどよろしく申し上げます。

## 就任のご挨拶



電子会会長 (T 15回 (高26))

山本 巖

兵庫工業倶楽部の皆様には、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

この4月から兵庫工業倶楽部電子会会長に就任致しました高26回山本巖(ヤマモトイワオ)と申します。今後

ともよろしくお願い致します。

長らく空席だった電子会会長に就任したきっかけは、兵庫工業倶楽部からの1本の電話からでした。

今は電子科とはまったく無縁の石材に関する仕事をしていますが、電子科が無くなるということで、電子科閉科の記念碑を建てるご相談を頂きました。以前より卒業生の制作のお手伝いで、母校に足を運ぶ機会もあり、また私がお世話になった学校に関わることでしたので、喜んでお話を伺いました。

そして、記念碑のデザインや彫刻する文字などの打ち合わせを重ねるうちに、その流れから電子会会長を打診頂きました。

兵庫工業高校在籍中は、生徒会に2年関わりましたが、決して優秀な生徒ではなかったのですが、こんな私が務まるのかと大変悩みました。ですが、せっかくお声がけ頂いたお話に何か御縁を感じ、引き受けることに致しました。土木会の会長に友人である大杉君がいたことも、安心して引き受けることに繋がった理由の一つかもしれません。

兵庫工業高校は今年創立120周年を迎え、その歳月に重みを感じる次第です。

私が在校生だったころは、70周年の年でした。あれから50年、半世紀経ち、多くの卒業生が社会に巣立ち、活躍しているということに喜びと共に、この繋がりを大切にしなければいけないという気持ちを強く感じました。

この創立120周年事業に関わることができ、大変光栄に思います。

## 卒業50年母校を思う



建築会会長 (A高24回)

小田 栄作

兵庫工業高等学校創立120周年おめでとうございます。私達24回生が卒業致しまして50年になりました。半世紀であります。在校生の皆さんは孫の年齢になります。私達が在学してお

りました頃の学校は、普通教室は鉄筋コンクリートの3階建ではありましたが、戦前の古い小学校の建物で狭い教室に男子ばかり40人も入ると本当に鮎詰め状態でした。実習教室も昭和26年、生徒達の勤労奉仕によって建てられた木造2階建で、台風被害などにより老朽化が酷い状態でした。現在は全て立て替えられ(改装竣工が85周年時)往時を思うと今昔の感があります。当時の周囲の環境は、丸紅の飼料工場、兵庫運河の貯木場、木材の製材所、東側の下水処理場と入学当初は臭気に騒音に悩まされたものです。現在は飼料工場も無くなり、兵庫運河は真珠の養殖が行われるなど、地域の親水空間として親しまれています。製材所も住宅街に変わり、東側の下水処理場は神戸市の総合児童センター(こべっこランド)に変わります。同窓生の皆さん是非一度母校にお立ち寄り下さい。立派な同窓会館(やまなみ会館 100周年記念に建設)には、古い校舎の模型がありますので懐かしいと思います。

あまり褒められた環境ではありませんでしたが、経済的に大学進学がむづかしい優秀な生徒が多く、遠くは小野、三木、三田、吉川町など2時間半かけて通学する生徒もいて頑張っておりました。

思い出の中でいつも記する事ですが、学園紛争で半年近く授業が出来なかった事が残念です。同級生の中には「俺たちは県工を2年半で卒業した」と言う者もいるくらいです。それでも伝統ある工業学校を卒業し、社会にでてから立派な実績を残している者も少なくありません。在校生の皆さん先輩達が築き上げてきた伝統を益々発展させてください。

## 母校への愛着と誇り



機械会会長 (M高16回)

吉川 健次

今秋、創立120周年を迎える母校に心よりお祝いを申し上げます。明治・大正・昭和・平成・令和と5代120年もの長い・長い歴史と伝統ある県工の卒業生の一人として、改めて母校により一層の愛着と誇りを感じています。私は生徒として昭和37年(2年次)に創立60周年を、その後、機械科の教師として70周年(昭和47年)・80周年(昭和57年)・90周年(平成4年)を、さらに、機械会会長として110周年(平成24年)と、この度の「120周年」も迎

えることができ、誠に幸せであり、光栄と思っています。

我が「機械科」は明治35年の創立時に設置された学科であり、クラス数も多く、卒業生は約11,000名、県工全卒業生の約1/3を占めています。学科名が機械科から「機械工学科」と変わりましたが、卒業生は同じ仲間として「兵工機械会」は歩んでおり、その活動の最大のイベントが「総合同窓会」です。2年に一度、20～80代の幅広い年代の機械科OBが神戸湊川神社「楠公会館」に集います。この同窓会の特徴はかつてお世話になった母校の先生…機械科のみならず、普通科(国・社・数・英・保体)の先生が多数出席されることです。残念ながら昨年に引き続き今年もコロナ禍で開催中止となりましたが、来年11月下旬には開催できるものと思っています。

最後に、県工が「質実剛健」・「文武両道」の学校として、今後益々の発展を祈念しながら、より一層の「部活動」の活躍を期待するしだいです。私は高3の夏、第8回全国高校軟式野球大会に3塁手として出場(準優勝)、その後、監督として出場した第35回大会(平成2年)も準優勝でした。あれから30余年が経った今でも当時の熱い想いは消えません。近年は空手道部の活躍が目立っていますが、軟式野球部は勿論、一つでも多くの部が近畿大会や全国大会で大活躍することを願っています。私の母校に対する愛着と県工OBとしての誇りは永久に不滅です。



## 母校創立120周年に寄せて



電気会会長 (E高14回)

### 有本 育夫

私は、母校卒業後61年を迎え、母校と共に歩んだ半生でした。その間、社会は大きく変化しました。卒業当時、日本全体が高度成長期で、夏休み中には就職希望者全員の就職先が決定し、就職後も年功序列制度の下、順調に会社生活を送ることが出来ました。現在は、当時と異なり厳しい時代であることは、皆様方承知のことと思われます。

私と同窓会(電気会)との関係は、会社員時代の定年近くまでありません。59歳のとき、地域のボーイスカウト活動を通じて、当時の電気会副会長から電気会のことを知り、電気会総会に出席したことが始まりです。総会に出席して、当時の電気科の先生方の消息が幾分かかりました。

当時、私たちのクラスはクラス会を数年ごとに実施していましたが、電気会総会には参加したことはありません。

それまでは、同窓会=クラス会と理解し、級友や担任の先生の消息は理解していましたが、電気科の先生や学校全体の情報はありませんでした。この原因は、クラス幹事と電気会役員との連携が不十分であったと思われます。

私は、電気会(総会)運営において、クラス幹事が重要であると考え、クラス幹事が出席される電気会(理事会)の活性化を企図しています。各クラス幹事諸氏の電気会(理事会)への出席のご協力をお願いいたします。

また、現在では、兵工高・兵工クラブのホームページが開設されていますので、ご参照ください。

尚、令和4年3月現在の電気会の「卒業生に関するデータ」→(卒業総人数 6,063人、故人 1,496人、宛先不明 2,177人、連絡可能 2,390人)連絡可能者全員に兵工クラブ会報(毎年7月発行)を送付。

## 母校創立120周年に寄せて

土木会会長 (P高27回)

### 大杉 和由



母校創立120周年を迎え関係者一同、ご同慶の至りでございます。同窓生として微力ではありますが、記念事業に関わらせていただき感謝いたします。母校は、この長い歴史の中で、大開通、五位の池、

現在の和田岬へと校舎老朽化や神戸大空襲により、移転を余儀なくされました。

現在の校地で改築となり、85周年(昭和62年:1987年改築竣工)、100周年(平成14年:2002年)が実施されました。日清戦争後、日本の産業界の飛躍的發展により工業教育の必要性が認識され、明治35年(1902年)11月に兵庫県立工業学校として認可されました。我が土木科は大正10年(1921年)4月に設置されました。その後、太平洋戦争、学制改革等、数々の荒波を歴代の校長先生が先頭に立ち教職員、生徒、地元の企業、住民の方々と共に乗り越えてこられました。

私は、昭和47年(1972年)4月に土木科入学、卒業と同時に同校へ勤務しながら、大阪工大Ⅱ部に入学して以来、退職するまで県立学校教員として42年間勤めました。その内22年間(52%)は、母校での勤務です。

印象に残った事は、2回目の勤務として母校に戻る平成7年でした。その年の1/17は阪神淡路大震災によって多くの方が亡くなり、町の全てが一瞬の内に激変しました。

震災直後の母校には、多くの避難者が集中し体育館を開放し、避難所として大変だったと聞いています。私が4月に赴任した時には、まだ避難者の方が残留されていましたが、落ち着いた状況でした。実は、私は母校の事が気になり、県職員募集の震災ボランティアとして、度々母校へ行って配達される物品の受入れや受渡しを担当し、母校に勤務する職員や生徒の動向をつぶさに見ていました。各学科の職員、生徒が得意の分野で修理やものづくりを行い、避難者の方から感謝されていました。校長室で先生方は寝泊まりして24時間体制で全職員が学校と避難所の心と体の健康面への配慮や保安維持をされていました。地域住民と教職員、生徒の信頼関係の

深さ、管理職のリーダーシップや職員の一体感は、素晴らしい関係だと思いました。

この度の3年に及ぶ新型コロナウイルスは、未だ収束を見ず、母校においても例外ではありませんが、これからの母校の発展のためにも今ある危機に対応し同窓生も含め、一丸となって歩んで行きましょう。

## 同窓会活動としてできることを



デザイン会会長 (D24回 (高29))

霞末 由可利

今年の11月8日に母校は創立120周年を迎えます。学校では今その記念事業の準備作業を着々と進めておられ、その様子や内容を目にしながら改めて120年の歴史の重みを感じている

ところです。そして、デザイン科については、昭和26年(1951年)建築科に図案課程が設置され、その時の生徒をデザイン科1回生として来年3月には70回生が卒業していきます。デザイン会では、デザイン科卒業生の多くの皆様とこの喜びを分かち合うべく「祝・デザイン科創設70周年記念」の総会および懇親会の実施を計画しています。来年7月発行の「兵工クラブ会報111号」、そして「デザイン会かわら版第10号」でもご案内する予定ですので、ぜひご参加いただき皆で母校の益々の発展を願い盛り上げていこうではありませんか。

また、今やデザイン会としての活動の中心軸になっているのは、全科の卒業生参加を目指す同窓生作品展です。2年に一度の開催予定が今回はコロナ禍の影響で1年間の延期を余儀なくされましたが、今年3月に元町駅近くにあるアートホール神戸で第6回「形・かたち・彩・いろ展」を他科の協賛のもと開催することができました。お陰をもちまして作品展は大いに盛り上がり、無事に終えることが出来ましたことをご報告すると共にこの場をお借りしてお礼を申し上げます。作品展の会場には卒業生たちの力作をはじめ、特別出展のデザイン科生徒の作品、賛助出展として旧職員の先生方の素晴らしい作品も並びました。会場ではたくさんの作品に囲まれての旧友たちの再会、そして様々な方との情報交換が行われ、さらには旧職員のもとに集まってきた元生徒たちによってミニクラス会のような場にもなるなど、作品展は大変有意義なものとなりました。



次は母校の130周年に向かって、同窓会活動としてできることを協力しながら一緒に頑張ってお参りしましょう。

## 本部・各会・支部総会だより

### 令和4年度 兵庫工業倶楽部 総会

(理事会・懇親会)

令和4年度の総会(理事会)・懇親会を令和4年5月28日(土)に楠公会館に於いて開催予定でしたが、新型コロナウイルスの影響で昨年度同様中止となりました。これで、3年連続で中止ということになります。総会議案については書面による評決「議決権行使書」により理事の方々に別頁の特集に掲載のとおり議事の承認をいただきました。

母校が11月に創立120周年を迎えるにあたり「記念事業実行委員会」の実行委員長として富金原理事長が就き、学校・同窓会・育友会が一体となって事業推進に努めています。現在、母校は授業については平常通り実施できていますが、今年度も入学式は規模縮小で実施されるなど、まだコロナ禍の影響は少なくはありません。引き続き120周年記念事業を含む倶楽部の運営等にご理解とご協力頂きますようお願い申し上げます。

「議決権行使書」による評決結果は下記のとおりですが、その他、貴重なご意見等も寄せて頂きありがとうございました。

(理事等人数：77名 「議決権行使書」返信人数：51名)

議案	議案に対する賛否
令和3年度事業報告	賛：51、否：0
令和3年度収支決算報告	賛：51、否：0
令和4年度事業計画(案)	賛：51、否：0
令和4年度収支予算(案)	賛：51、否：0
120周年記念事業計画・収支予算(案)	賛：51、否：0

(事務局 前田 学 記)

### 令和3年度 各会 総会・懇親会

令和3年度に開催を予定していた、各会の総会・懇親会等は下記のとおり全て中止、延期となりました。

- ◆ 9月 電気会 楠公会館 中止
- ◆ 10月 建築会 楠公会館 中止
- ◆ 10月 土木会 チサンホテル神戸 中止
- ◆ 11月 機械会 楠公会館 延期

## 兵工山の会 北アルプス剣岳登山

薬師岳山頂

山本、谷、  
石見、西野、  
鎌田、大西



- 山行日：令和3年9月3日～6日
- 山 域：北アルプス 薬師岳(2926m)
- 参加者：西野(E高10)、大西(C高26)、山本(E高30) 谷(P高31)、友人(89歳)

山岳部OB会の兵工山の会です。今年も北アルプスに出かけました。小雨が降る中出発、一時雨は上がりましたが、薬師峠のテント場につくなり豪雨でした。翌日は晴れて薬師岳に登頂できました。回を重ねる毎、メンバーは一つずつ年を取っています。来年の9月には北アルプの白馬岳へ行くことになっています。冬シーズンはゲレンデスキーを楽しんでいます。(会長 C高26 大西 真秀 記)

## 電子工学科 閉科式

- 開催日：令和4年2月26日(土)
  - 場 所：母校：多目的ホール他
- 昭和34年(1959年)4月に創設された電子科(電気科より分科)が、平成15年(2003年)4月に電子工学科に改称を経て、電子の学びを推進していましたが、令和元年度入学生から募集停止となり、令和4年(2022年)3月の卒業生を最後に閉科となりました。現・旧教職員、兵庫工業倶楽部から副理事長他、電子科・電子工学科の同窓生、そして最後の卒業生も出席して閉科式が行われました。

最初のT1回生(高12回生、昭和35年3月卒)から最後のT63回生(高74回生、令和4年3月卒)までの2411名の卒業生を輩出しました。非常に残念ですが、兵庫工業倶楽部としても兵工電子会の協力のもと、記念碑(写真)を制作し、やまなみ会館前に設置しました。

尚、「兵工電子会」は今後、会員数は増えませんが、新しく山本会長に就任していただき、継続して存続しますので今後ともご支援、ご協力を宜しくお願い致します。

(事務局 前田 学 記)



## 同窓会(クラス会)だより

### E高12-2 オンラインクラス会

- 開催日：令和3年9月9日(木)
- 場 所：オンライン Zoom使用
- 出席者：10名

クラス会は三年間担任頂き6年前に御逝去された佐伯先生のニックネームから「カッパ会」と称し、今回で26回となる。

昨年は卒業して60年で傘寿、今年は満80歳。大きな節目をリアルで盛大に祝いたかったが、あいにくコロナ禍で二年連続Zoomとなった。ゴルフ場や病院から駆けつけたメンバー含めて10名の参加を頂く事が出来、賑やかに過ごした。開会に先立ち、この一年に鬼籍に入られた枝光宏征君のご冥福を祈り黙祷を捧げた。

リアルクラス会が二年連続中止になったので、皆の近況を纏めた「会員だより」を作成して配布すべく、連絡の取れる28名に御願ひし、20名の返事を頂き、写真も入れてA4・9枚に纏めて全員に配布した。更に「傘寿のあゆみ」として、誕生からの80年間を、人生節目の年の史実やトピックスを写真やイラストで描画し、A4・2枚に纏め「会員だより」に同封配布し好評を得た。

仲間たちは皆、なにがしら問題を抱えているが、明るさは失っておらず、お互いに元気をもらい合えた時間であった。お開きは校歌を歌い4時間！を終えた。次回はリアル？

(保坂 憲一 記)



## M高17 (4クラス合同)同窓会

- 開催日：令和3年11月14日(日)
- 場 所：湊川神社 楠公会館
- 出席者：30名

コロナ禍で延期となっていた念願の4クラス合同の同窓会を開催しました。57年振りの再会。出席者名札着用。各クラス毎のテーブル席を準備。【主幹事挨拶】に続き、【乾杯】後、全員の【自己紹介(現況・現役時実務経験披露)】を“酒の肴に大いに飲み・語り合、親交を深めました。”

アツと言う間に2時間が過ぎ、最後に【母校の校歌を全員で斉唱】【集合記念写真を撮り(添付通り)】閉会。家路につきました。【幹事：藤田信明・中作洋二 両氏】お疲れ様でした。

(山口 正典 記)



## 活躍する同窓生

昨年の「来たれ！県工」に引き続き、多方面で活躍されている同窓生を紹介したいと思います。この企画は来年度以降にも継続の意向です。今年度は次の同窓生を紹介させていただきます。



井上 広大さん  
D 58 (高63)  
(H.23.3 デザイン科卒)

小さな頃から絵を描くこと、鉄道や自動車などの乗り物が大好きでした。なので、乗り物関連のデザイナーになりたいと思い県工へ進みました。

しかし学んでいく過程でイラストレーションに興味を持ち、ヴィジュアルコースを専攻。部活では美術部に所属し、この頃から鉄道テーマのイラスト作品を描き始めました。



卒業後はよりイラストを学びたいと思い、大阪芸術大学短期大学部を経て同大学の芸術学部デザイン学科へ進みました。そして現在「乗り物イラストレーター」としてフリーで活動しています。大学在学中から年1回明石で個展を開催しているほか、鉄道やバス事業者様等向けにグッズイラストの依頼制作、さらには2019年交通新聞社様より発売の鉄道花札「てつふだ」のイラストも描かせていただき現在も書店や鉄道博物館等で好評発売中です。

最後に私が在学時代より大切にしていること。それは自分自身の「大好き」なものや「やりたい」こと。生徒の皆さんにもそういったものを大切に、いろんなことに挑戦して欲しいです。



## 令和3年度 母校部活動の記録

- ◆硬式野球部
  - ・全国高等学校野球選手権兵庫大会ベスト8
- ◆軟式野球部
  - ・全国高等学校軟式野球選手権兵庫大会 2回戦敗退
  - ・秋季兵庫県高等学校軟式野球大会 2回戦敗退
- ◆男子ハンドボール部
  - ・兵庫県高等学校総合体育大会 2回戦敗退
  - ・兵庫県新人大会 ベスト16
- ◆女子ハンドボール部
  - ・兵庫県高等学校総合体育大会 1回戦敗退
  - ・兵庫県高等学校新人選手権大会 2回戦敗退
- ◆サッカー部
  - ・兵庫県高等学校総合体育大会 2回戦敗退
  - ・兵庫県高等学校新人大会神戸地区予選 2回戦敗退
- ◆陸上競技部
  - ・兵庫県高等学校対校選手権大会
  - ・女子ハンマー投6位、女子円盤投予選7位、女子砲丸投予選9位
  - ・兵庫県高等学校ユース対校選手権大会 神戸地区予選会
  - ・1年男子800m6位、1年男子1500m6位、1年男子砲丸投6位、2年女子砲丸投4位、2年女子円盤投2位
- ◆ソフトテニス部
  - ・兵庫県高等学校総合体育大会中央決勝大会
  - ・個人戦ダブルス 1回戦敗退
  - ・兵庫県高等学校新人中央大会
  - ・団体戦 2回戦進出・個人戦シングルス 1回戦敗退
- ◆硬式テニス部
  - ・兵庫県高等学校総合体育大会テニス競技大会 団体戦1回戦敗退
  - ・個人戦予選シングルス・ダブルス出場
  - ・兵庫県高等学校対抗テニス新人大会 団体戦1回戦敗退
  - ・個人戦予選シングルス・ダブルス出場
- ◆バスケットボール部
  - ・兵庫県高等学校総合体育大会代替大会 男子4回戦敗退
  - ・神戸市秋季大会 下位トーナメント戦 男子2回戦敗退
- ◆バドミントン部
  - ・兵庫県高等学校総合体育大会出場
- ◆卓球部
  - ・兵庫県高等学校総合体育大会 男子学校対抗 2回戦敗退
- ◆バレーボール部
  - ・兵庫県総合体育大会 2回戦敗退
  - ・兵庫県高等学校新人大会神戸地区予選 3回戦敗退
- ◆空手道部
  - ・全国高校総体(インターハイ)：富山県
  - ・男子学校対抗 総合 第6位
  - ・団体組手 第5位 個人組手 出場
  - ・近畿高等学校大会：和歌山県
  - ・女子団体形5位 女子個人組手-59kg 3位
  - ・男子個人組手統合戦 出場
  - ・全国高等学校選抜大会代替大会：東京
  - ・女子団体形11位 男子個人組手-55kgベスト16
- ◆柔道部
  - ・兵庫県高等学校総合体育大会 男子団体戦出場
- ◆山岳部
  - ・兵庫県高等学校総合体育大会 男子の部 第7位
- ◆自転車競技部
  - ・兵庫県高等学校総合体育大会
  - ・1kmタイム、トライアル 第2位
  - ・スプリント 第2位、ポイントレース 第2位
  - ・ケイリン 第3位
- ◆ラグビー部
  - ・兵庫県高等学校総合体育大会 初戦敗退
  - ・兵庫県高等学校新人大会 2回戦進出
- ◆水泳部
  - ・兵庫県高校ジュニア大会
  - ・女子50m自由形近畿新人大会 出場標準記録突破

- ・近畿高等学校新人水泳競技大会  
女子50m自由形 出場(兵庫県ランキング8位)

◆写真部

- ・春季写真コンテスト神戸支部大会 入選・佳作
- ・兵庫県高等学校総合文化祭神戸支部予選 入選・佳作

◆吹奏楽部

- ・兵庫県吹奏楽コンクール神戸地区大会 銀賞

◆無線研究部

- ・KANHAM2021オンライン開催,活動報告

◆ロボット研究部

- ・工業フェアロボット競技  
自走式Basic Class キットパーツ部門出場  
自走式Basic Class オリジナルパーツ部門出場
- ・マイコンカーラリー近畿地区大会  
Basic Class出場

◆放送委員会

- ・NHK杯全国高校放送コンテスト  
アナウンス部門入選・佳作  
朗読部門入選1名・佳作  
ラジオドラマ部門佳作
- ・第45回兵庫県高等学校総合文化祭放送文化部門  
ラジオドラマ部門 佳作

令和3年度 亀山賞・別車賞		
亀山賞	陸上競技部	安孫子 愛美
	空手道部	赤澤 隼人 ・ 池田 心寛 廣瀬 心星 ・ 松本 哲治 鈴木 早香 ・ 寺井 梨奈 福元 滯 ・ 生田 恋 正井 実咲
別車賞	チャレンジ同好会 (建築科)	工藤 純乃 ・ 上田 涼乃 宮川 瑠唯 ・ 貴島 渚 成瀬 美琴 ・ 岩城 朱里
	チャレンジ同好会 (都市環境工学科)	上林 剛瑠 ・ 豊川 瑞稀 中西 大晴
	チャレンジ同好会 (デザイン科)	加藤 更紗 ・ 雁子 愛望 岸本 愛望 ・ 本田 天音
	無線研究部	大洲 周兵

第67回工高生デザインコンクール	
建築科	入選 1名

第68回日本大学全国高等学校建築設計競技	
建築科	最優秀賞 1名 審査員特別賞 1名 最優秀学校賞受賞

第35回日本工業大学建築設計競技

建築科	審査員賞 1名 佳作 2名
-----	------------------

九州産業大学第4回建築都市工学部  
全国高等学校プロジェクトコンテスト

建築科	銀賞 1名
-----	-------

第12回高校生の建築甲子園

建築科	奨励賞
-----	-----

第12回トンボデザインコンクール  
制服デザイン部門

デザイン科	最優秀賞 1名
-------	---------

令和3年度デザインパテントコンテスト

デザイン科	優秀賞 2名
-------	--------

第22回全国高校生  
ファッションデザインコンテスト

デザイン科	大賞 1名
-------	-------

令和3年度 高校生ものづくりコンテスト  
測量部門

都市環境工学科	近畿大会優勝 1チーム 全国大会出場 3名
---------	--------------------------



ふるさと納税制度を活用して  
“県立学校環境充実応援プロジェクト”に参加しませんか

本校は県を代表する工業高校として、工業技術の向上やものづくりへの挑戦、そして生徒たちが元気に活動する学校づくりを進めています。

そこで、部活動の充実のために、トレーニング機器や楽器、植物育成実験機器などを整備し、運動部・文化部ともに活動を充実させるための応援をお願いしています。

お問い合わせ先は学校 (TEL.078-671-1431) または下記ホームページへ

●学校ホームページ <http://www.hyogo-c.ed.jp/~hyogo-ths/> ●

### 令和4年度 母校の兵工祭 日程

- 日時：令和4年11月5日(土) 9時~14時30分
- 場所：県立兵庫工業高等学校 受付は正門
- ※昨年度同様、新型コロナウイルスの影響で日程・内容の変更により、一般公開は中止になる場合があります。

### 令和4年度 母校の人事

(令和4年4月1日付)

管理職・同窓生関係のみ掲載

#### 〈転入〉

教頭 中野 公雄 (P高36) 宝塚東  
 実習助手 城戸 昴斗 (A高67) 長田商業からM科へ

#### 〈転出〉

教頭 木澤 直子 明石西  
 実習助手 堂山 利奈 (D62) 退職

### 令和4年度 各会総会の予定

今年度は下記の4学科会の総会・総合同窓会が予定されていましたが、下記のとおり、新型コロナウイルスの影響で電気会と機械会の開催が中止または延期となります。

- ◆ 9月 電気会 楠公会館 中止
- ◆ 10月8日(土) 建築会 楠公会館 案内状同封
- ◆ 10月 土木会 未定
- ◆ 11月 機械会 楠公会館 来年度に延期

### 創立120周年記念式典のご案内

11月8日(火) 13:00より、「神戸常磐アリーナ(兵庫県立文化体育館)/長田区」に於いて、「創立120周年記念式典」を挙行いたします。参加をご希望の卒業生の方は、下記の申込みフォームからお申し込みください。なお、新型コロナウイルスの状況によっては、参加をご遠慮いただくことがありますので、予めご了承ください。万一、そのような場合は、本校ホームページを通じてご連絡させていただきます。

#### 記念式典申し込みフォーム▶

<https://forms.gle/5gJrsh4zoYhcL7mD7>

申込みメ切 10月7日(金)



## 14,087名の連絡のつかない方がおられます (令和4年6月現在)

兵庫工業倶楽部会員名簿整備に  
本年も皆さんのお力をおかしてください!

兵庫工業倶楽部会員 実態表

	卒業総人数	連絡可能	連絡不可	故人
A	4,072	1,731	1,265	1,076
M	10,803	4,055	4,886	1,862
E	6,063	2,390	2,177	1,496
C	5,325	2,002	2,339	984
P	3,389	1,496	1,020	873
D	2,529	1,493	929	107
T	2,411	1,321	1,040	50
I	1,263	829	431	3
計	35,855	15,317	14,087	6,451

兵庫工業倶楽部の活力を保つためには、連絡可能な方を増やしましょう。

ぜひ皆さま、時にはクラス会を開催し、旧友と再会を果たしてください。こんなにクラス会が楽しいものだったかと、皆さんおっしゃいます。

クラス会開催に必要な名簿は、事務局で準備いたします。



#### \*事務局の勤務予定日 (やまなみ会館 9:00~16:00)\*

勤務日	月	火	水	木	金
事務局	小口	前田	前田	宮崎	前田 小口

●春休み・GW・夏休み・冬休みの学校休日は休みます。(土・日・祝休み)

#### 令和4年度 広報委員会委員

委員長 ・ D 14 ・ 三原 隆  
 委員 ・ A高29 ・ 望月 真早美  
 委員 ・ M高16 ・ 福家 巖  
 委員 ・ E高26 ・ 伊木 博  
 委員 ・ C高16 ・ 塩谷 雅  
 委員 ・ P高37 ・ 平川 隆  
 事務局 ・ A高25 ・ 前田 正彦  
 事務局 ・ 前田 学